

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

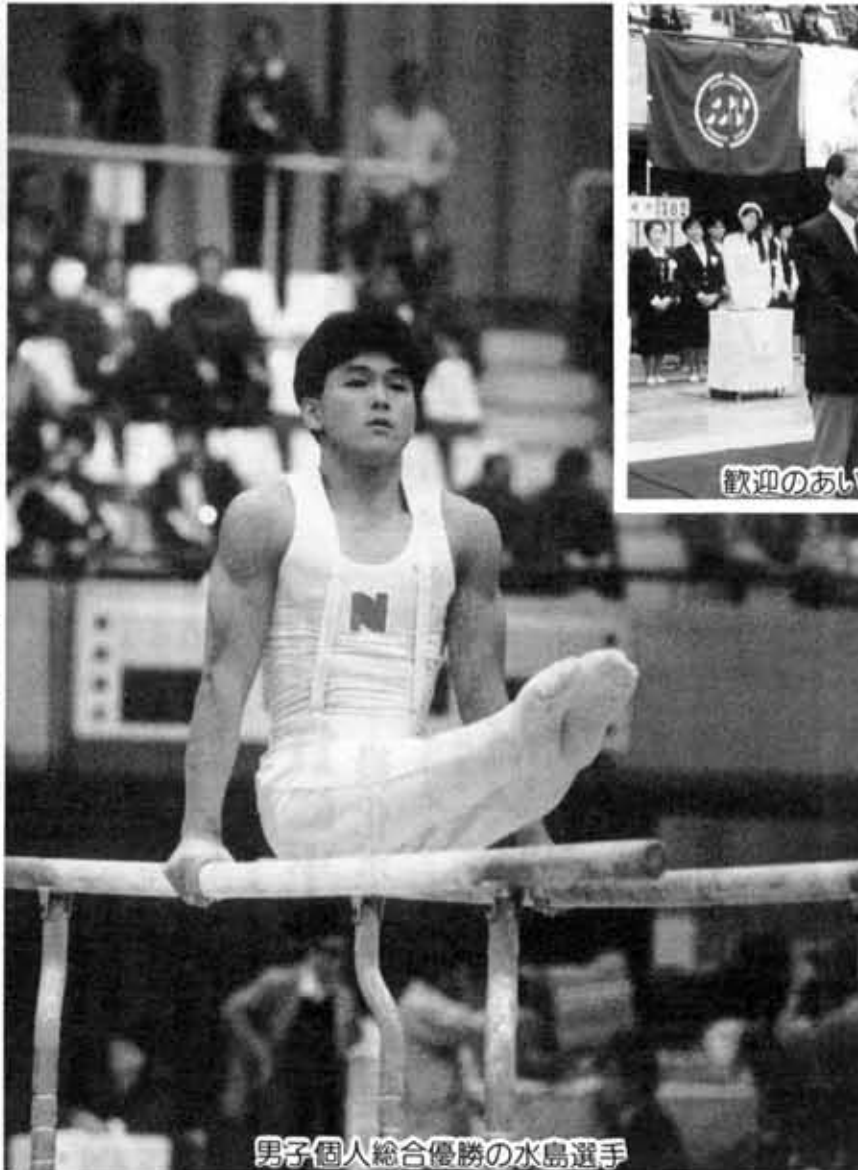
練磨された力と技

地元勢の活躍に大声援

選手と観客が一体になった3日間 —入場者一万四千五百人—



女子個人総合優勝の信田選手



男子個人総合優勝の水島選手



歓迎のあいさつをする民秋市長



式典にのぞむコンパニオン

第43回国民体育大会体操競技リハーサル大会と第24回オリンピック・ソウル大会第一次予選会を兼ねた第41回全日本体操競技選手権大会が、11月6日から8日までの3日間、向日市民体育館で開催され、日本を代表する有名選手が練磨された力と技を展開しました。

大会は、11月6日の午前10時からオープニングのセレモニーで始まり、向陽、西山岡高校の演奏する「わたしの向日市」にのって前年度の優勝者が入場。民秋市長が力強く歓迎のあいさつをしたあと直ちに競技に移り8日までの3日間熱く華麗な戦いが繰り広げられました。競技の内容は、初日6日から男女の個人・団体総合の規定が始まり、7日には男女の個人・団体総合自由演技の後半が、また8日には上位8名による種

目別演技が行われました。その結果、男子個人総合では水島宏一選手(日大)が、女子では信田美帆選手(朝日生命体操クラブ)が優勝。また男子団体総合では大和銀行が、女子では朝日生命体操クラブが優勝しました。種目別男子では床運動に池谷幸雄選手(清風高校)あん馬と鉄棒に水島宏一選手(日大)、つり輪と跳馬に寺尾知之選手(河合楽器)、平行棒に加藤裕之選手(大和銀行)が、女子では平均台と床運動に信田美帆選手(朝日生命)、跳馬に真田マキ子選手(協会推薦)、段違い平行棒に瀬尾京子選手(朝日生命)がそれぞれ優勝しました。どの選手もソウル五輪第2次予選に向けて、練習の成果を十二分に発揮しようとして優勝者もとより、参加者全員が真剣に競技に取り組んでいました。

会場には連日、超一流選手の演技を一目見ようと大勢の観客が集まり、熱心なファンで開館前に列ができる日もありました。入場者は3日間で延べ1万4千5百人を迎え、大会は成功裏のうちに8日に幕を閉じました。

国体では、来年の国体本番に向けて、確かな手応えをつかみ、自信を深めました。

地元選手の活躍



米澤選手(西ノ岡中学)



七原選手(西山高校)



ぎっしりつまった観客席



穴八木選手(西山高校)



太田選手(西山高校)